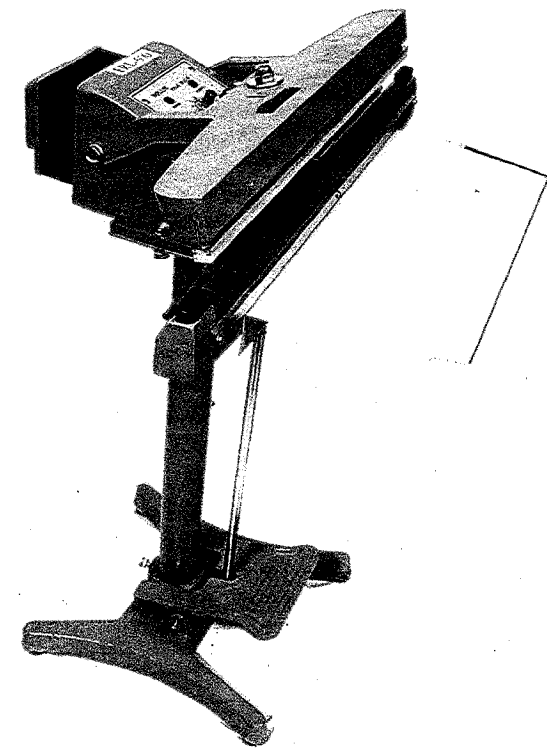


足踏式インパルスシーラー

*FRL*シリーズ

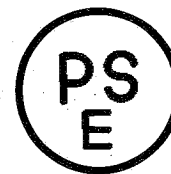
取扱説明書



輸入発売元

(有)三邦コーポレーション

〒814-0155 福岡市城南区東油山2-13-3
TEL 092-874-5773 / FAX 092-874-5783



このたびは、本品をお買い上げ頂きましてまことにありがとうございます。

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、

正しく使用してください。

まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮できなかったり、




故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。

目 次

1	安全のために必ずお守りください	4 ページ
2	各 部 名 称	7 ページ
3	同 梱 部 品	8 ページ
4	製品の組み立て	9 ページ
5	使用 方 法	11 ページ
6	消耗部品の交換	13 ページ
	6-1 消耗部品の交換時期	
	6-2 消耗部品の交換時の注意	
	6-3 テフロンシートの交換	
	6-4 ヒーター線の交換	14 ページ
	6-5 テフロンテープについて	15 ページ
	6-6 シリコンゴムの交換	
	6-7 マイクロスイッチの交換について	
	6-8 温調器ユニットの交換について	
7	故障と原因	16 ページ
8	仕 様	18 ページ

1. 安全のために必ずお守りください

●ここに示した事項は、△危険、△警告、△注意に区分しています。

 危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が負傷を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

『注意』の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険

★純正部品以外の使用はしない

機種にあった純正部品をお使いください。異機種の部品を使用しますと故障や火災の危険があります。

警告

★電源は適切なコンセントから取る

細い延長コードやタコ足配線は火災の危険性があります。適切なコンセントからお取りください。

★水をかけない

本体を水洗いしたり、液体の包装には使用しないでください。感電や故障の原因となり危険を伴います。また、水気のある場所での使用も危険です。

★部品交換時は電源コードのプラグを抜く

不用意に通電して火傷や感電の危険があります。

⚠ 注意

★高温部接触禁止

長時間作業を行ったり、シール直後はヒーターが通電していなくても高温になっていますので火傷をする危険性があります。

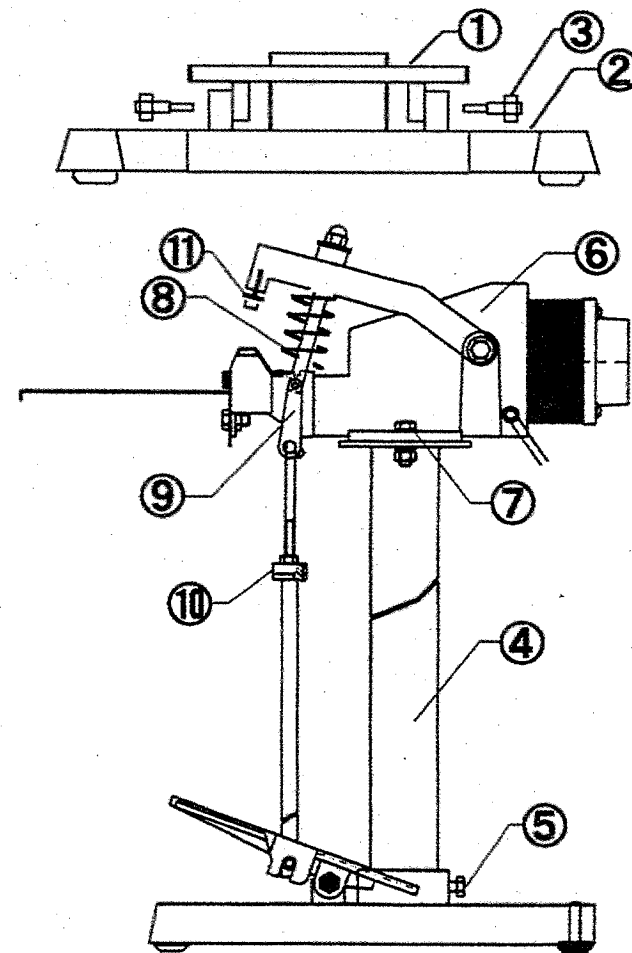
★長時間使用しないときは電源プラグを抜く

不用意に通電して火傷や感電の危険があります。

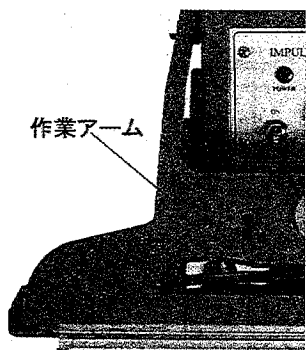
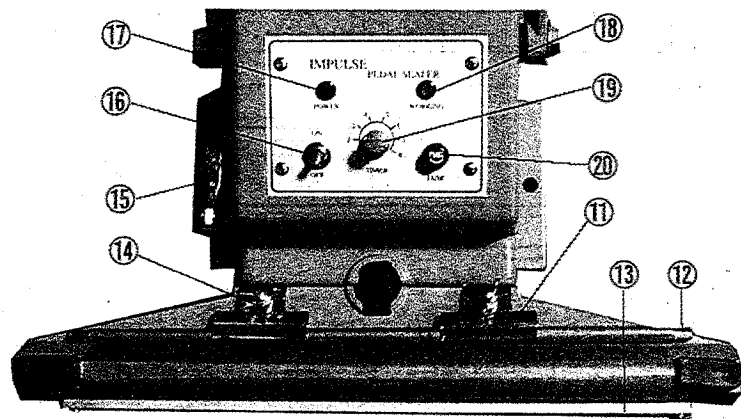
★改造の禁止

規定以外の部品を使用したり特異な作業を行った場合、火傷や感電の危険があります。

2. 各部名称



- ① 足踏みペダル (底部に同梱)
- ② シャーシベース (底部に同梱)
- ③ ペダル接続部品
- ④ 支柱
- ⑤ 支柱固定ボルト
- ⑥ シーラー本体(ボディ)
- ⑦ 本体固定ボルト(ナット)
- ⑧ スプリング
- ⑨ 接続シャフト
- ⑩ アジャスター
- ⑪ シール作業部



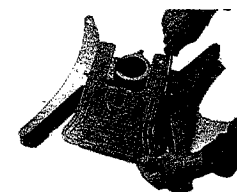
- ⑫ テフロンシート巻き取りシャフト
- ⑬ テフロンシート留め金具
- ⑭ テフロンシート押え金具
- ⑮ マイクロスイッチ
- ⑯ 電源スイッチ
- ⑰ 電源ランプ(赤ランプ)
- ⑱ 通電ランプ(グリーンランプ)
- ⑲ 加熱時間調整つまみ(タイマーノブ)
- ⑳ ヒューズ

3. 同梱部品

シーラー本体一式(組立式)	×1
マイクロスイッチ	×1
テフロンシート	×1
テフロンテープ	×1
ヒーター線	×2
ヒューズ	×2
温調器ユニット	×1
スパナ	×1
プラスドライバー	×1
マイナスドライバー	×1

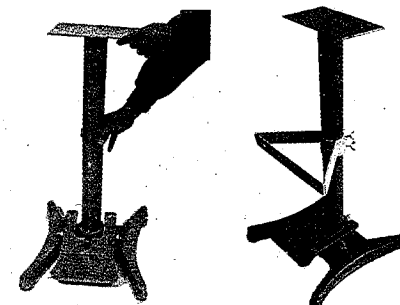
4. 製品の組立

A. シャーシベースに接続部品を使って足踏みペダルを取り付ける。

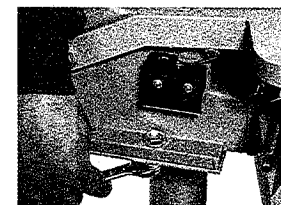
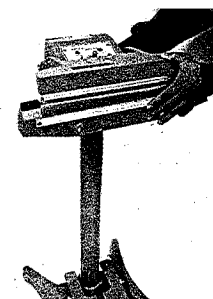


B. シャーシに支柱を取り付け、支柱固定ボルトで固定する。

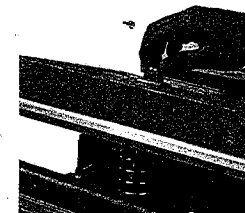
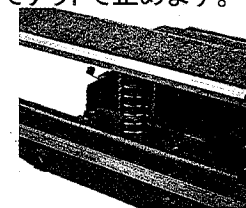
※別売りの作業台アジャストステーを使用する場合は、シャーシベースに支柱を取り付ける前にアジャストステーを支柱に通して仮止めしておきます。



C. シャーシに取り付けた支柱にシーラー本体を載せ、本体固定ボルト(ナット)で固定する。

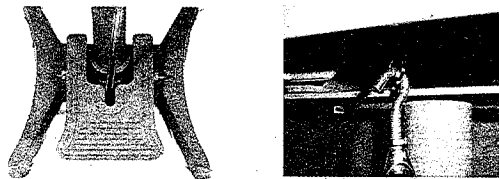


D. シーラー本体と作業アームの間にスプリングを挟み、接続シャフトを通してナットで止めます。

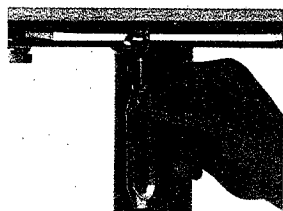


(スプリングは本体部分に正しく装着してください。)

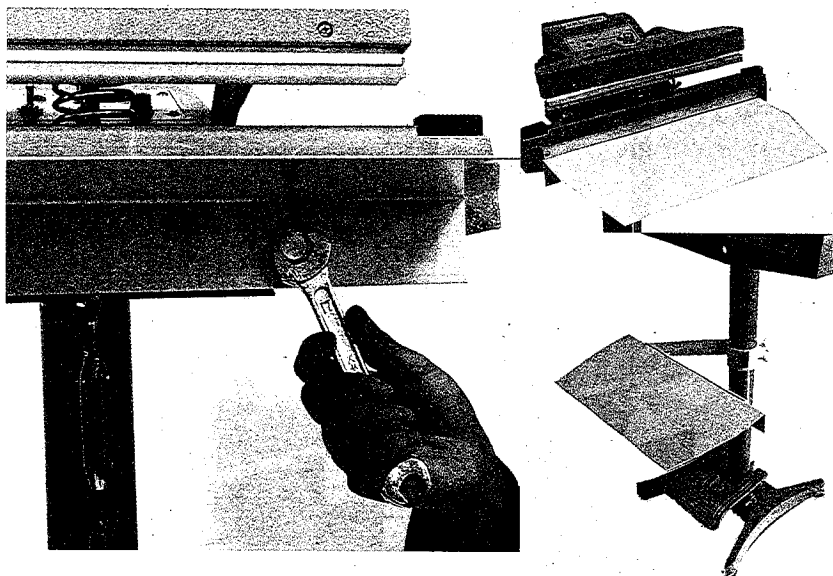
E. アジャスターをペダルと接続シャフトに引っ掛けるように連結します。



F. ペダルを踏んで作業アームが下がったときにシール作業部が隙間なく密着するようにアジャスターを調節する。



G. 付属のボルト(ナット)を使い、本体前部に作業台を取り付ける。
※作業台が無い方が作業がやりやすい場合は取り外して作業してください。
※アジャスター使用時には本体ではなくアジャスターに作業台を装着します。



5. 使用方法

フィルム(袋)をセットしてペダルを踏むとヒーター線に通電してシールができます。きれいで確実なシールをするために、下記をご参照いただき、正しくお使いください。

①電源スイッチを入れ電源ランプ点灯確認。
コンセントをつなぎ(家庭用電源100V)電源スイッチを入れると、電源ランプ(赤ランプ)が点灯し、準備完了。

②加熱時間の設定をします。
シールするフィルムの材質、厚さなどで最適なシール時間が異なります。

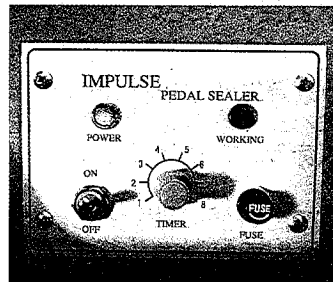
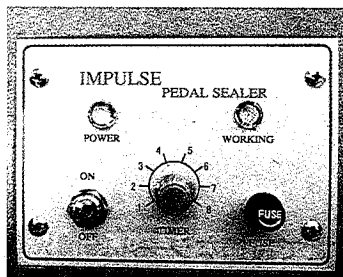
タイマーノブの目盛りを大きくすると加熱時間が長くなります。
必要以上の加熱時間は部品の消耗を早めたり、シール不良を起こしますので、加熱時間は使用されるフィルム(袋)がシールできる最短の時間(必要最低限)に設定してください。

③フィルム(袋)をセットします。
袋の開口部にしわが寄らないように両手で左右に引っ張りながらシール作業部にのせます。



④ペダルを踏む。

フィルム(袋)をセットしたままペダルを踏み作業部でフィルムをはさむ。この時、袋をはさむと同時に本体側部のマイクロスイッチが入りヒーター線に通電します。(通電中は通電ランプ[グリーンランプ]が点灯し、通電終了で消灯します。)



⑤シール部を冷却します。

加熱終了後数秒間は、ペダルを踏み続けてシール部を冷まします。ランプ消灯後すぐにペダルをはなすと溶着したシール部にしわがよったり、フィルムが伸びて薄くなり強度不足がおきたりします。

⑥ペダルをはなしてシール完了。

シール部の冷却が済んでペダルを放したらシール作業の完了です。

⑦加熱時間の再調整

シール作業を連続して行いますと、ヒーター部分に熱がこもって徐々にシール部の温度が上昇します。

シール部の温度が上昇すると、シール不良や部品の消耗を早める原因になりますので、連続使用時に溶着過多になってきた場合は初回の加熱時間よりも短くなるようにタイマーを再調整してください。

※シーラーを良好な状態でお使いいただくため、連続使用時にはシール作業間に十分なインターバルをお取りください。

又、良好なシールを保つ為、シール部(テフロンテープ部分)には異物やホコリ等がつかない様に常に清潔に保ってください。

※シール回数の目安は500回/1日以下を推奨しております。1日あたりの使用回数は500袋以下でお使いください。

6. 消耗部品の交換

加熱シールする本品は、シール回数が増すことによって消耗部品が徐々に劣化します。消耗部品は必要に応じて交換をしてください。

6-1 消耗部品の交換時期

各部品の交換時期は下記を目安にしてください。

● テフロンシート

焦げて表面がザラついている、表面が切れている。(シールが汚い)

● ヒーター線

断線してシールがまったくできない。(使用回数 5,000回位での交換を推奨)

● シリコンゴム

焦げて表面がザラついている、表面が焼け切れている。(シールが汚い)

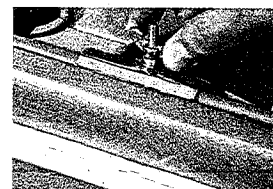
6-2 消耗部品の交換時の注意

部品交換の際には、必ず電源コードを抜いてから作業を行ってください。

間違った部品交換はシール不良や火災の原因になりますので充分注意をして正しく作業してください。

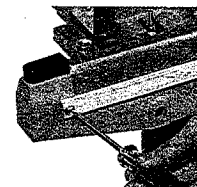
6-3 テフロンシートの交換 其の一

①



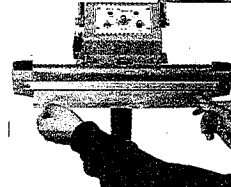
① テフロン押え金具のねじを緩めます。テフロンシートが引き出せる程度に緩めてください。

②



② テフロン留め金具を緩める。本体前部にネジ止めしてあるテフロン留め金具をシートが引き出せる程度に緩めてください。

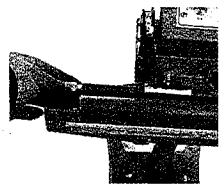
③



③ テフロンシートを手前に引き出します。こげたシート部分がヒーターにかからない程度引き出します。(600の場合シート中ほどに切れ込みを入れます。)

④ 引き出したシートを切り取る。テフロン留め金具をシートがしわにならないように締め、シートの余分な部分をはさみ等で切り取る。

⑤



⑤シートのたるみを取ります。
テフロン巻き取りシャフトをシートに皺や歪みができないように巻き取ってテフロン押さえ金具を締める。

6-3 テフロンシートの交換 其の二

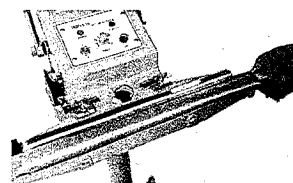
※シートの巻き取りに余裕がなくなったらテフロンシートを交換します。
テフロンシート押さえ金具を巻き取りシャフトが外れるまで緩め新しいシートを巻き取りシャフトに両面テープ等を使って貼り付けます。

6-3 の①～⑤を参照してテフロンシートを取り替えてください。

6-4 ヒーター線の交換

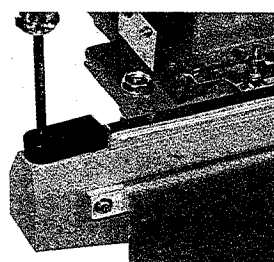
● ヒーター線の取り外し

①



①テフロン押さえ金具を緩めテフロンシートをめくり上げます。

②

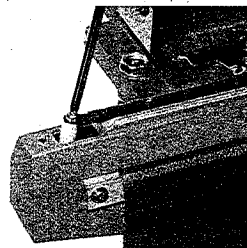


②ヒーター線カバーのネジを緩めてカバーを取り外します。

③ヒーター線取り付けのねじを緩めヒーター線を外します。

● ヒーター線の取り付け

④



④左右の電極部にヒーター線をネジ止めます。
(ビスの締め付け過ぎは破損の原因になります。ヒーター線にねじれやしわが無い程度に適度な力で締めてください。)

⑤テフロンシートを取り付け、ヒーター線カバーを取り付けます。

6-5 テフロンテープについて

テフロンテープとはヒートパッキンに貼り付けてあるテープで、ヒートパッキンとは機械本体が高温になるのを防ぎヒーターと本体の接触・ショートを防止する部品です。

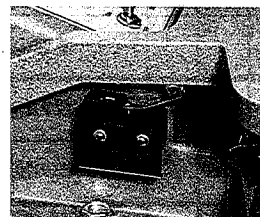
テフロンテープは最初にヒートパッキンに貼ってあるものは剥がさないようご注意ください。テープが焦げたりした場合は最初に貼ってあるテープの上から重ね貼りしてください。(2度目からは重ね貼りしたものを貼りなおしてください。)

6-6 シリコンゴムの交換

シリコンゴムは圧着レバー裏にある部品です。交換の際は押さえゴム取り付けレールの溝に沿ってはめ込みます。

6-7 マイクロスイッチについて

マイクロスイッチは本体左側面に取り付けてありペダルを踏むと作業アームで押され電源が入る部品です。



稀にスイッチの動きが悪くなり通電しなくなることがあります。{ 16ページの『7.故障と原因』を参照。} その場合、付属の予備部品との交換が必要です。(配線は2箇所あり、元の通りに取り付ければOKです。)

6-8 温調器ユニットについて

温調器ユニットは本体内部に取り付けてある電子部品です。

ヒーター線切れやスイッチの動作不良が原因ではないシール不良の場合、この部品を取り替えることで正常に戻る事があります。{ 16ページの『7.故障と原因』を参照。} 交換が必要と思われる場合、付属の予備部品と交換をしてください。(コネクタを差し替え、取付金具を緩めて元の通りに取り付ければOKです。)

7. 故障と原因

		原因							
		コンセント	電源コード	タイマー	ヒーター線	タイマー調整	テフロンシート	シリコンゴム	操作
ペダルを踏んでもシールできない		●							コンセントに電気がきていない
								●	ペダルを踏み切っていない
		●							電源コード、配線の断線
				●					タイマー基盤の不良
通電ランプは点灯するがヒーター線が加熱しない					●				ヒーター線の断線
					●				ヒーター線の接触不良
通電ランプがつきっぱなしでヒーターが焼ける						●			タイマー目盛りの上げ過ぎ
					●				タイマー基盤の不良
シールがきれいにできない	シールが溶ける					●			加熱時間が長い
	シールが縮んでしわができる							●	冷却時間が短い
	シールむらがある						●	●	テフロンシートの装着不良、消耗部品の劣化
	シール強度が弱い					●			加熱時間が短い



警告

このマークの付いている処置は電気知識のある方が行ってください

確認	処置方法
コンセントに他の電気機器を入れても動作しない	ブレーカーやコンセントなどを確認する 警告
ペダルを踏んだときにカチッという音がしない(マイクロスวิตッチが入らない)	ペダルを最後まで踏む。アジャスターを調整する。マイクロスวิตッチのレバーを(曲げて)調整する。
ペダルを踏んでも通電ランプが点灯しない	販売店までお問い合わせください
ペダルを踏んでも通電ランプが点灯しない ※上記のいずれにも該当しない	温調器ユニットを交換 販売店までお問い合わせください 警告
ヒーター線が断線している	ヒーター線を交換する
ヒーター線の取り付けビスが緩んでいる	ヒーター線取り付けビスを締めなおす
	タイマー目盛りを下げる
タイマーの目盛りを最小にしてもヒーターが焼ける	温調器ユニットを交換 販売店までお問い合わせください 警告
	タイマー目盛りを下げる
	通電ランプが消えても圧着レバーを数秒押さえたままにしてシール部を冷却する
テフロンシートにしわがある テフロン・シリコンゴムがこげている	テフロンシートにしわが無いように装着する 劣化している消耗部品を交換する
	タイマー目盛りを上げる

8. 仕様

品名	電圧	電力	シールサイズ	本体寸法	重量
FRL-350MUL	100V	850W	350×10mm	450(W)×350(D)×850(H)	約 27.5kg
			シール作業部高さ	作業台寸法	
			780mm	450(W)×550(D)×850(H) 作業台寸法(360×200mm)	

品名	電圧	電力	シールサイズ	本体寸法	重量
FRL-450MUL	100V	1,050W	450×10mm	550(W)×360(D)×850(H)	約 28kg
			シール作業部高さ	作業台寸法	
			780mm	550(W)×560(D)×850(H) 作業台寸法(400×200mm)	

品名	電圧	電力	シールサイズ	本体寸法	重量
FRL-600MUL	100V	1,500W	600×10mm	700(W)×380(D)×850(H)	約 29kg
			シール作業部高さ	作業台寸法	
			780mm	700(W)×580(D)×850(H) 作業台寸法(500×200mm)	

生産地 : 中華人民共和国